

会 議 録

1 会議名

令和6年度第7回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 報告事項（公開）

（1）令和5年度のうみてらす名立における市及び指定管理者の収支状況等について

2 自主的な審議事項（公開）

（1）自主的な審議テーマの検討について

3 その他事項（公開）

3 開催日時

令和6年10月29日（火）午後6時30分から午後7時55分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

0名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：池垣美津子、石井浩順、岡崎祥子、高宮末男、中野祐、新田鮎、二宮香里、細谷祥大、矢沢智大
- ・ 事 務 局：桐木所長、沢田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、塚田市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、木村地域振興班長
- ・ 観光振興課：青柳副課長、渡辺主任

8 発言の内容

【木村班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告

- ・原田会長が欠席のため、二宮副会長に議長を依頼する。

【二宮副会長】

- ・挨拶
- ・桐木所長に挨拶を求める。

【桐木所長】

- ・挨拶

【二宮副会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【木村班長】

- ・会議録の確認者：池垣委員、石井委員
- ・配布した資料の確認

【二宮副会長】

- ・次第2、報告事項（1）令和5年度のうみてらす名立における市及び指定管理者の収支状況等について観光振興課に説明を求める。

【青柳副課長】

- ・資料No. 1に基づき説明

【二宮副会長】

- ・意見や質問がある委員は発言してほしい。

【石井委員】

- ・建設から年月が経ち、また海岸沿いということもあって、施設が相当傷んでいると想像できる。修繕料が昨年度に比べてかなり増額になっている。今後もボイラーなど大型の機材の修繕に高額な経費が必要になると思うが、そのあたりはどのように考えているか。

【青柳副課長】

- ・ボイラーではないが、高額なものとして健康交流館の空調設備を2年前に入れ替えている。また、ホテルの空調について、集中管理してたものを個別管理にする工事を2か年計画で実施しており、今年の夏前に完了した。
- ・ボイラーについては、現状からするとリニューアルに併せる中で更新していくこと

になると思う。ただ、リニューアルの具体的な時期については、今後検討していくことになる。

- ・市内には様々な温浴施設があるが、公の施設の適正配置計画の中で、うみてらす名立は「観光施設・レジャー施設」という位置づけで「現状維持」となっているため、今後もしっかりと維持管理を行い、適切な状態を保っていきたいと考えている。
- ・一方で、リニューアルを控えていることから、修繕をそのタイミングまで先延ばしにする場合もあることをご理解いただきたい。

【石井委員】

- ・海水プールについて、以前、海水をくみ上げるポンプに砂が詰まり、アワビの養殖施設にまで影響が出て、その対応が大変だった記憶がある。現在使用しているポンプもかなりの年月が経ち、劣化していると思われるが、仮にそのポンプに砂が詰まってしまうと海水のくみ上げができなくなってしまうが、そのあたりの見通しはあるのか。

【青柳副課長】

- ・その件については、リニューアルに関する協議の中で、海水プールを今後も続けていくのかといったことも含めて指定管理者と協議したいと考えている。
- ・現在の海水プールは夏季のみの営業であり、降雪量の少ない名立区の海岸沿いであっても冬季の営業は難しいため、通年を通して利活用できるような方法も検討していきたい。

【石井委員】

- ・県外から来る利用者の声を聞くと、海を眺めながら海水プールで泳ぐことに魅力を感じているといった意見もある。そういった観光客の声も聴きつつ検討を進めてほしい。

【中野委員】

- ・先ほど、うみてらす名立の辺りは雪が少ないといった話があったが、そのことを活かして施設の屋根に太陽光発電を設置するような考えはあるか。

【青柳副課長】

- ・現時点でそういった話はないが、リニューアルにあたり検討の余地は少しある。ただ、この辺りは風の影響を受けやすいと思うので、難しいかもしれない。

【二宮副会長】

- ・リニューアルという話があったが、名立区の中にコインランドリーがほしいといった声を聞いた。うみてらす名立の中に空いているスペースがあるので、そこを活用してコインランドリーを設置できれば、利用する方も多いと思う。

【青柳副課長】

- ・うみてらす名立は道の駅でもあるので、地域の方が利用できるという観点も大事であると思う。
- ・近年はコインランドリーも増えていて、大きな布団など自宅での洗濯が難しいものを家の近くで気軽に洗濯から乾燥までができるといった利便性がうけていると思う。実現できるかはこの場では回答できないが、地域からの声があったということを指定管理者に伝えたいと思う。

【二宮副会長】

- ・質問や意見がないようなので以上とする。

— 観光振興課退席 —

【二宮副会長】

- ・次に次第3の(1)自主的な審議テーマの検討に入る。前回の会議では、委員の皆さんの考えを用紙に書いてもらい、それをグループ分けしながら壁に張りだし、説明などを行ってもらった。本日は、その内容をさらに煮詰め、テーマの設定を行えばよいと考えている。それでは、詳細について事務局に説明を求める。

【木村班長】

- ・資料No. 2-1 基づき説明

【沢田次長】

- ・資料No. 2-2については、前回の会議で委員の皆さんからいただいた意見を基に事務局で自主的審議テーマの案を作成したものである。作成の際には、日頃総合事務所に届いている住民の声や、まちづくり未来ネット・名立の皆さんとの話の中で出てきた意見等も少し加味して整理をした。
- ・資料No. 2-2に基づき説明

【二宮副会長】

- ・それでは、資料No. 2-2について、皆さんからご意見をいただき、さらにどのテ

テーマにするかを絞り込んでいきたいと思う。

- ・絞り込むテーマは1つでも複数でもよいと思うが、あまり沢山にしてしまうと時間の制約もあり、なかなか結論が出せないということも考えられる。
- ・内容的にまだ時期早々というものについては、私たちの任期が4年間あるので、次回以降のテーマ設定に先送りすることも手だと思ふ。
- ・また、今回の会議でテーマを決める予定になっているが、2期前に、自主的審議テーマを「ろばた館」と決めた際には相当な議論があり、時間をかけて決定したという経緯もあるので、今回のテーマ設置についても、次回以降の会議での決定になってもよいと思っている。
- ・本日は原田会長が不在ということもあるので、とりあえず皆さんの意見を聞かせてほしい。

【石井委員】

- ・項目としては事務局案のとおり、この4つに絞られると思う。ただ、この中で特に議論を急がなければならない項目は、「名立の魅力の発信」、「持続可能な集落・地区の促進」、「高齢化が進む中で新たな農業の実現」の3項目だと思う。
- ・「名立区の教育のあり方」については、先ほども話があったように学校運営協議会という組織があり、学校の教職員や地域住民が構成員となっているので、まずはその中で協議を進めていただき、学校運営協議会の中で話がまとまった後で、地域協議会と協議をする方がよいと思う
- ・名立区の場合、他の区とは異なり、近隣の学校と統合することが容易ではないと感じている。
- ・小中一貫教育という話もあると思うが、市の方針もあり、名立区だけで進めるものではない。
- ・こういった課題は、地域協議会ではなく、まずは学校運営協議会で協議するべきだと考えている。
- ・これ以外の項目については、待ったなしの状況であり、名立区内でも解散寸前の集落が出てきている。具体的には、一つの町内では神社を維持管理できなくなり、近隣の町内の神社と一緒に、維持できない神社は解体したという事例がある。
- ・神社がなくなってしまうと、町内行事の拠点がなくなり、町内会活動も衰退してい

くことが予想される。

- ・下名立地区、上名立地区ではどこの町内も若手が少なく、少ない人数で町内の役員を回しているのが現状である。

【高宮委員】

- ・比較的人口の多い不動地区でも同じような状況である。不動町内会は3つの町内会が合併して5年経つが、町内会の運営に関する課題はまだまだ多くあると感じている。

【石井委員】

- ・不動地区はまだよい方で、役員のなり手がおらず、何年間も同じ人が役員を務めている町内会も多い。特に上名立地区はそうである。
- ・このような状況であるため、町内会の合併を急がなければいけないと思う。難しいテーマではあるが、地域協議会としてどの町内会同士が合併するかといった案を考えることはできるのではないか。
- ・確認したいのだが、名立小泊から東飛山までで、空き家が何件あるかを市で把握しているのか。

【沢田次長】

- ・把握はしていると思う。この場で具体的な数字は持っていないが、空き家の定義は難しく、もう何年も空いていて、別所帯を持っているケースもあれば、冬季だけ空き家になっているというケースもある。また、ひと月に1回くらいは家に戻ってくるという場合もある。

【高宮委員】

- ・南部の方へ行くと、かやぶき屋根の空き家も多い。かやぶき屋根の場合、解体費用も高くなると思う。そういった理由もあって空き家を取り壊さずにいるのかもしれないが、劣化により壊れた家屋の一部が強風で隣の家まで飛んでしまうといった問題も起きている。

【木村班長】

- ・総合事務所では集落づくり推進員が集落を回り、空き家の状況等も含め、定期的に集落調査をしている。
- ・また、他の地区では移住者向けに町内の紹介や空き家の情報をまとめてホームページ

ジに載せているが、名立区はこれまでそういった取り組みをしていなかった。これも今年度に入り、集落づくり推進員を中心に作成を進めているので、その中で空き家情報も発信できればよいと思っている。

【二宮副会長】

- ・それは丸田町内会で作成したものか。

【木村班長】

- ・そうである。各町内の意向を聞いたところ、希望のあった丸田町内会と不動町内会で作成した。

【矢沢委員】

- ・移住者を受け入れると言っても、計画書の作成や町内としての方向性を決めるなど、段取りをしっかりしなければいけないと思う。

【沢田次長】

- ・不動地区は移住者の受け入れに向けて動いていると聞いている。矢沢委員が言うとおり、事前の段取りが重要で、年度内にまとめることを目標に進めているようだ。
- ・町内会での段取りがまとまれば、市が進めている移住の計画に沿って、必要な支援を行うこともできると思う。

【矢沢委員】

- ・市には移住者の受け入れ等について説明してくださる方がいると聞いたので、不動町内会では12月中に予定が合えばその方から話を聞きたいと考えている。

【二宮副会長】

- ・空き家や移住の話になっているが、それ以外で皆さんから何かご意見はあるか。

【池垣委員】

- ・社会福祉協議会では、高齢者と子どもたちを繋げるような機会を年に数回設けているが、それだけではなく、子どもから高齢者までが自由に集まれるような場所やイベントができればよいを考えている。
- ・現在は、高齢者を対象としたもの、子どもたちを対象としたものといったように、参加者が限定されているイベントが多いので、そうではなく年齢に関係なく交流できる機会をつくりたい。
- ・また、高齢者のサロンを開催すると参加者は女性がほとんどである。男性はサロン

で近所の方とお話することに抵抗があるのかもしれないが、サロンという形でなくても草刈りでもよいし、何かしら外に出て人と関わる機会をつくりたいと思っている。

【岡崎委員】

- ・移住と言われても難しい話で、なかなかピンとこないことも正直あるが、自主的審テーマの案の中では、「持続可能な集落・地区の促進」を最初に進めた方がよいと思う。
- ・移住に関して言えば、年配の方であれば農業や田舎暮らしといった魅力が名立区にはあると思うが、若い方の移住を増やしたいと思ったときに、どうしたら移住先を選んでもらえるのかと考えると難しい。若い人にとっての名立の良さを整理し発信することも必要ではないかと思う。そう考えると、「名立の魅力発信」というテーマでの検討も必要になってくると思う。
- ・なかなか考えがまとまらないが、若い世代から名立区に移住してもらうためにはどうしたらよいかを考えたい。
- ・また、集落じまいといった話も出たが、上名立地区や下名立地区の現状を把握できていないが、かやぶき屋根の空き家が多数ある町内をそのままの形で維持管理し、観光名所としている場所もあるので、そういった取り組みもできるかもしれない。
- ・例えば、かやぶき屋根の家をリノベーションして、宿泊体験施設にできれば需要はあるかもしれない。
- ・集落じまいと聞くと後ろ向きなイメージだが、そうではなく活用できるものは残して発展させていくような考え方も面白いかもしれないと思った。

【中野委員】

- ・私の知っている方で、移住された方がいる。その方の移住のきっかけは、空き家情報誌か何かでその家を見つけたことだったようだ。
- ・関東圏などでもっとPRすれば、移住者は増えるのかもしれないと思う。
- ・また、名立区は細長い地形であり、集落同士が離れているところも多くあるため、町内会の統合が難しいところもあると思う。そういった集落をどのようにまとめていくのかも課題だと感じている。

【細谷委員】

- ・名立区に住んでいる人たちが暮らしやすくなるようなテーマがよいと思っている。外から移住者を呼び込むことも大切だが、それはもう少し先の事かもしれない。
- ・将来の名立区を想像することは難しいが、人口が劇的にV字回復することはないと思う。そうだとすると、現状を少しずつでもよい方向に向かうような取り組みができればよいと思う。
- ・今は地域活動にあまり参加していない若い世代や中高生がもっと表に出てきて、地域と関わるようになると、名立区の盛り上がりにつながるのではないかと。
- ・前期の自主的審議のテーマをみると、「ろばた館の利活用について」ということで、かなり具体的なテーマ設定をしている。今回についても、もっとテーマを絞った方が、現実的な議論になるのではないかと。

【矢沢委員】

- ・ここに挙がっているテーマの案は、どれも名立区にとって重要なことだと思うが、実際に町内会の役員をやっているが、若手が少なく一生役員を続けなければいけないのではないかと。
- ・人口が少なくなっても町内会等の行事は減らず、役員の負担が年々大きくなっている。残すものは残すが、辞めるものは辞めるといった選択も必要だと思う。
- ・私は先日、ろばた館に行ったが、「もう少しで温泉がなくなってしまうのか…」と思うと寂しい気持ちになった。ろばた館の今後についてなど、まずは地元に住んでいる方にとってプラスになるような議論をして、その次に外から人を呼び込む方法について議論してもよいと思った。

【新田委員】

- ・名立に住んでいる方にとっての魅力を、名立区全体の魅力に広げていければ良いと思う。

【高宮委員】

- ・先ほどかやぶき屋根の家を活用できないかといった話も出たが、現在はかやぶき屋根の家を修繕できる職人がいないため、残していくのが難しいということが現状だと思う。
- ・また、不動地区では3メートルの雪が積もるので、一人では除雪ができない方の家や、空き家は近所の方が協力して除雪をしている。

- ・また、民生委員の方が中心となり、高齢者世帯等の支援も行っている。こうして、なんとか支え合って集落を維持しているというのが現状である。

【石井委員】

- ・除雪に関しては市からの補助金も出ているが、以前は町内会によって補助金額が異なり、積雪量が多い町内の方が補助金が少ないといったことがあり気がかりだったが、今はどうなっているか。

【沢田次長】

- ・現在は解消されている。

【石井委員】

- ・その点は良かったが、一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯では除雪が難しく、民生委員がその方のお宅の除雪を行っているという現状がある。
- ・民生委員一人で5軒以上のお宅の除雪を行っている場合もある。そういったことも名立区で生活するうえでの住みづらさみたいなものにつながってくると思う。
- ・また、除雪をしてくれる若い人がいない町内会もある。
- ・雪の影響もあり、冬場は生活しづらいので、そういった現状を変えていく議論も必要だと思う。

【沢田次長】

- ・今ほど委員の皆さんから様々な視点でご意見をいただいたが、このように委員の皆さんが普段から感じておられることから自主的審議のテーマにつなげていくこともよいと思う。
- ・また、地域協議会として市へ意見書を提出するだけでなく、住民の皆さんへ提言していく方法もあると思う。
- ・今回の会議ではテーマは決まらないと思うので、次回以降も引き続き議論していただき、委員の皆さんが納得するテーマを設定していただきたい。

【二宮副会長】

- ・皆さんの意見を聞いて感じたのだが、石井委員が言われたように「名立区の教育のあり方」については学校運営協議会での議論が先だと思う。また、「高齢化が進む中で新たな農業の実現」については、委員の皆さんから話が出なかった。皆さんからは、移住も大切だが、まずは現在名立区に住んでいる方たちがもっと住みやすくな

ることで、人口流出が減って、さらに名立区の魅力を発信することで、UターンやIターンが増えるような仕組みづくりといった方向性でテーマを決めていければ良いと感じた。

【桐木所長】

- ・委員の皆さんのご意見をお聞きし、皆さんの気持ちが伝わってきた。私自身、所長となって3年が経ち、地域の皆さんの感覚をある程度理解しているつもりだが、私が思っている中では、「名立の魅力を発信」と「持続可能な集落・地区の促進」の2大看板だと思っている。
- ・自主的審議のテーマになるものとして、要綱では、「身近な地域の課題を解決しましょう」ということと、もう一つは「市政運営の中での課題を市に提言しましょう」ということがある。
- ・先ほど、玄関先の除雪の話があったが、以前、当時のまちづくり協議会が住民にアンケートを行った際に「庭先の除雪」と「買い物・通院支援」があった。まちづくり協議会として、前向きに考えていたからこそアンケートの項目に入れたのだと考えている。
- ・今年度から、まちづくり協議会はNPO法人となり、対外的な信頼をワンランク上げたことから、何か事業に取り組みたいという考えがあったのではないかと思っている。
- ・以前、委員の皆さんからNPO法人まちづくり未来ネット・名立の方から今後の取組や活動内容について聞きたいという話があり、打診した際に「逆に委員の皆さんから質問があればお答えします」という回答であった。であれば、NPO法人まちづくり未来ネット・名立になったからこそ行いたい取組は何かということを質問してはどうかと思った。
- ・新しい組織を設立した際に、これまでにあった組織（つまり名立まちづくり協議会）の取組を母体にすると考えると、生活支援型の事務所というイメージが強いので、そういった今後の具体的な取組内容について質問するのもよいと思う。
- ・もう一点、名立の魅力を発信について、今回の委員改選で、名立区の地域協議会委員は若手が多くなり、その方たちの取組に注目している。
- ・その中でも岡崎委員からは「名立海の学校」の取組についてお話を伺っているし、

細谷委員については、地域独自の予算事業に取り組んでいただくことになっている。

- ・名立の魅力の発信というと、「夕日がきれい」や「ブナ林」といったワードをよく聞くが、そうではなくて、地域の活動に参加した人たちが賛同し、その取組を通して魅力が広がっていくことが本当の魅力発信になると考えている。
- ・仮に、生活支援型のテーマを自主的審議として取り上げると何となく暗い話になってしまう。
- ・高齢者支援や福祉も重要だが、せっかく若い世代が委員になっているので、名立の魅力を発信するような前向きなテーマでないと勿体ないと思う。
- ・委員の皆さんの意見にもあるが、「若手の活躍」辺りは良い発想だと思う。
- ・後ほど、木村班長からも話があるが、来年度の地域独自予算の提案が全区から挙がってきた。その内容をみると他の区では、やりたいことを事業化し、どんどん提案してきている。予算化されるかどうかはこれからの話だが、要求しているという実態はある。
- ・こういった取組を考えた時に、実施母体になる団体を見つけることが課題となるので、岡崎委員や細谷委員、それから輝く里不動の会といった人たちにとても期待している。

【細谷委員】

- ・シンプルに、自分が楽しいと思えることをやりたいと思って活動しているので、その取組が魅力発信につながればよいと思う。

【木村班長】

- ・実は、地域政策課から委員の皆さんへの宿題がいくつかあり、そのうちの 하나가、「今年度中に委員の皆さんで地域の現状を見てください」というものである。
- ・名立区にはうみてらす名立やシーサイドパークがあるが、そういった所を見るのではなく、地域で様々な取組をしている現場を見るのもよいと思った。

【二宮副会長】

- ・なんとなくの方向性は見えてきたが、本日はテーマの決定は行わず、次回以降の会議で具体的に詰めていきたいと思う。

【木村班長】

- ・本日、委員の皆さんからいただいた意見を事務局でまとめるので、次回の会議の参

考にしていきたい。

【二宮副会長】

- ・ それでは、次第4、その他事項について、事務局から何かあるか。

【木村班長】

- ・ 当日配布資料に基づき説明

【沢田次長】

- ・ これらの提案については市に予算要求している段階であるが、今後実施団体との協議の中で多少内容が変わる場合もある。最終的には3月議会で予算が成立した後に、委員の皆さんへお知らせする機会を設ける予定である。

【二宮副会長】

- ・ この件については、委員の皆さんから質問がないようなので、これで終了する。
- ・ 他に事務局から何かあるか。

【木村班長】

- ・ 名立新そばまつりに関する協力依頼

【桐木所長】

- ・ この名立新そばまつりは、名立区農業振興協議会が主催だが、これも名立区の魅力発信の機会だと思っている。
- ・ 話は変わるが、今年8月に銀座に新潟県のアンテナショップがオープンし、12月には牧と清里の商工会が出店する予定になっている。名立区が出店できるかと考えた時に、出店するものがなかったり、商工会の統合もあり、なかなか難しいと感じた。
- ・ こういった観点からも地域協議会や若手からのアイデアがあれば、東京でのPRも可能かもしれない。

【二宮副会長】

- ・ 最後に、次回の開催日についてだが、原田会長が欠席ということもあるので、事務局と調整し、決まり次第皆さんにお知らせする。
- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121 (内線 5504)

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。